

2006 年度

シドニー大学薬学部臨床薬学研修報告書

参加者

植田紗也加 (Sayaka Ueda)	薬物動態制御学 (M2)
岡本恵佑 (Keisuke Okamoto)	生体超分子システム解析学 (M2)
城山正喜 (Masaki Shiroyama)	生薬学 (M2)
水野郁子 (Ikuko Mizuno)	生体超分子システム解析学 (M2)
森 仁美 (Hitomi Mori)	医薬品代謝解析学 (M2)

研修期間：平成 18 年 10 月 16 日 (月) ~ 10 月 20 日 (金)

1. スケジュール



Sydney University Pharmacy Association
Faculty of Pharmacy (A15)
University of Sydney NSW 2006 Australia
Ph: +61 2 95521299, Fax: +61 2 93514391

Formal Itinerary - Japanese Students Visit (15th-22nd October, 2006)

Saturday 14th October

- Students arrive at Sydney Airport (Kim Chan to pick them up)
- Flight QF 136, 7am
- Accommodation: Pensione Hotel Sydney
 - 631 - 635 George St, Sydney 2000, Australia
 - >Phone:61-2-9265-8888
 - ><http://www.pensione.com.au/index.html>

Monday 16th October

- 8:30am: Kim Chan to pick up students from Pensione Hotel
- 9am: Students meet with SUPA representatives
 - Meeting point: outside Bank Building, Faculty of Pharmacy
 - SUPA representatives to escort students to Dean's office
- 9.15am: Dean's Welcome (Iqbal Ramzan)
 - Venue: Dean's Office, Faculty of Pharmacy
- 9.45 am: Tour of Faculty of Pharmacy, overview of week (Kim Chan) and discussion.
- Lunch with Kim Chan (following discussion)
 - Venue: Darlington Centre
- 2pm: University Heritage Tour
 - Meeting Place: Clock Tower, Main Quadrangle
 - Guide Name: Lyn McHale

Tuesday 17th October

- 10am: Information Seminar (Ines Krass)
 - Venue: Common Room, Faculty of Pharmacy
 - Topic covered: Pharmacy Practice in Australia
- 11:30 am: Lunch (Students choice)
- 2-4pm: Community Pharmacy Externship (NB. Students should depart university at approximately 1pm to ensure prompt arrival)
 - Venue 1: Day & Night Chemist - Ashfield
 - Contact: Gulian Vaccari (proprietor) p. 9797 8589
 - Address: 1 Hercules St, Ashfield
 - Getting there: (?)
 - Venue 2: Nick Logan Pharmacist Advice - Artarmon
 - Contact: Claire O'Reily (pharmacist) p. 9419 6880
 - Address: 96 Hampden rd, Artarmon
 - Getting there: Pharmacy located directly opposite Artarmon Train Station.

Wednesday 18th October

- 9am: Lecture with Pharmacy Students
 - Venue: Bosch Lecture Theatre 4
 - Subject: Pharmacy Practice 3B
 - Volunteers: SUPA students (TBA)
- 10am-12pm: Research Lab 'Externship'
 - Venue: Pharmaceutics Research Laboratory
 - Volunteers: Freddy and Peter (Honours Students)
- 12 Noon: Lunch at Chinatown
 - Zilver Restaurant: 477 Pitt Street, City (phone: + 61 2 9211 2232)
 - Meeting Point: outside Bank Building, Faculty of Pharmacy
 - Coordinator: Kim Tran
 - Volunteers: SUPA students (TBA)
- After Lunch: Free Time

Thursday 19th October

- 10am-12pm: Hospital Pharmacy Externship
 - Venue: St Vincent's Hospital
 - Contact: Jo-anne Brien
 - Address: (?)
 - Getting there: (?)
- Afternoon: Free Time

Friday 20th October

- 9am: Lecture with Pharmacy Students
 - Venue: Bosch Lecture Theatre 2
 - Subject: Physical Pharmaceutics and Formulations 3B
 - Volunteers: SUPA students (TBA)
- 10am: Lecture with Pharmacy Students
 - Venue: Carslaw Lecture Theatre 159
 - Subject: Pharmacy Practice 3B
 - Volunteers: SUPA students (TBA)
- 12pm: SUPA 4th Year Farwell BBQ
 - Venue: Arts Lawn
 - Volunteers: SUPA students (TBA)
- 3pm: Debrief/Conclusion (Iqbal Ramzan and Kim Chan)
 - Venue: Dean's Office

Saturday 21st October

Sunday 22nd October

- Students return to Japan

2. 代表者による研修報告

1) 植田紗也加

私たち大学院博士前期課程2年生5人は、昨年10月にシドニー大学の臨床薬学研修に参加しました。

研修は1週間で前半には研究室見学やオーストラリアにおける薬学教育・医療制度の講義を受け、実際の大学講義も聴講させていただきました。後半にはシドニー市内の薬局や病院の見学をしました。薬局に置かれている薬は一般販売薬、Pharmacy medicine(薬局義務薬)、Pharmacist only medicine(薬剤師義務薬)、Prescription only medicine(処方箋薬)、Controlled drug(施錠して保管される薬)に分けられており、含有量によって扱いが異なる薬もあります。薬局での調剤業務の中で日本と比較して大きく違う点として、オーストラリアでは錠剤やカプセル剤は箱に入ったまま開封せずに患者さんに渡します。そのため日本で行われているような錠剤やカプセル剤を輪ゴムでとめるといった作業はありません。また、投薬の最後には患者さんから受け取りの署名をもらいます。オーストラリアでは、4年制の大学薬学部を卒業後、1年間の実務研修を経て薬剤師試験の受験資格が得られます。見学先の薬局でも実務研修が行われていました。St Vincent's Hospitalでの病院見学では病院薬剤師の仕事内容や病院における薬剤費などの説明を受けました。残念ながら今回は病院内での薬剤師業務を見学させてもらうことはできず、病院において薬剤師がどのように治療に携わっているか実際に見ることはできませんでした。次回の研修からは業務の見学も検討してもらえようなのでさらに充実した研修内容になると思います。

シドニー大学との国際交流は今回が初めてではありましたが、シドニー大学関係者の方々にはとても親切にいただき、有意義な研修を受けることができました。また、このような機会を与えてくださった関係者の方々にはこの場を借りて御礼を申し上げます。この貴重な経験を基に今回研修に参加させてもらうことのできた5人それぞれが日本の薬学の発展に貢献できるように邁進していきたいと思っています。

2) 水野郁子

個人で旅行に行ったのでは見られない、オーストラリアでの大学の研究室や、薬局や病院の様子を知りたいと思い、今回の研修への参加を決めた。

研修1日目(10月16日)

Chan先生とともにバスでシドニー大学へ向かった。Chan先生に、講義室、実験室、ディスカッションの部屋など、大学内を案内してもらった。大学はたいへん広い。午後にはガイドの方に付いて、大学の歴史、大学内の博物館などを回る University Heritage Tour を行っていた。博物館にはミイラや器などが展示されていた。

研修2日目(10月17日)

オーストラリアの医療についての講義を受けた。Quality Use of Medicine (QUM)という言葉がキーワードになっているようだった。適切な時に、適切な治療を行うこと、そして治療の中心は患者

であることなどを聞いた。オーストラリアには多くの薬剤師の組織があること、薬剤師のフィールドとして Community が 80%、Hospital が 12.3% と知った。糖尿病と喘息は特に重要な課題であるようだった。また、大学での薬学教育に関することも教えていただいた。午後には、薬局の見学に行った。場所は Ashfield の Day & Night Chemist。小さめのお店で、日本のドラッグストアと似たような印象だった。四人の人が働いていて、調剤をやっていたのは二人で、そのうち一人は卒業後の研修生だった。処方箋をもって来る方も多く、ずっと忙しそうだった。投薬が、いつも箱単位だった。店の中の薬には処方箋がないと出せない薬と、処方箋がなくても薬剤師が出すことができる薬とがあった。処方箋の中には医師が同じ処方箋で複数回、薬を出すことができる記述ができるようになっていた。ジェネリック医薬品は一般的に使われており、処方箋には Brand に限るというチェック欄があった。医薬品の説明書は本人の希望があれば無料で添付することができるという話も聞いていた。メディケアという公的な医療制度があり、一部負担で医療が受けられるそうだ。

研修 3 日目 (10 月 18 日)

SUPA の学生と待ち合わせをして、大学の講義に出席した。教員の方はユーモアのある話し方をしており、時折笑いが起こっていた。学生に発言を促し、それに応える学生もいる。広い教室での講義であったが、コミュニケーションがよく取られていたことが自分たちと違うと感じた。講義の後には Chan 先生の Lab の見学をさせてもらった。錠剤を作ったり、粉体の物性を調べたりする機器一つ一つについて丁寧に教えてもらうことができた。普段自分の行っている実験の分野と違うが、興味深いものだった。

研修 4 日目 (10 月 19 日)

病院の見学に行った。場所は St Vincent's Hospital。ここでは、オーストラリアの医療について講義を受けた。QUM という言葉はここでも聞かれた。薬歴管理の重要性や患者との対話を大切にするなど日本と同じであると思った。医療機関で働く人の教育にも関わっているというような話もしていた。実際の働く現場が見られなかったことが残念である。

研修 5 日目 (10 月 20 日)

学生さんに案内してもらい、講義を受けた。ドラッグデリバリーなど製剤の分野の講義と、緩和ケアに関する臨床的な分野の講義だった。

日本とオーストラリアの医療に関しては似た部分が多いように思った。もっと英語で会話が出来たら、もっと多く知ることができたと思う。Chan 先生や SUPA の学生さんにたいへんお世話になった。感謝したい。

3. 資料

1) シドニー大学正面



2) 薬学部入り口



3) 薬学部内部



4) 薬学部実習室



5) 見学先の St.Vincent 病院前で Brien 教授と共に



6) 実習先の薬局（入り口）



7) 実習先の薬局（内部）



8) 実習先の薬局の薬剤師さんと地元の実習生



9) シドニー大学薬学部の講義



10) お別れパーティ



11) シドニー大学側の研修担当のChan 助教授と学部長のRamzan 教授と共に

